

国・地方連携会議ネットワークを活用した 男女共同参画推進事業

女性の活躍推進シンポジウム

報告：(特活)UN Women日本国内委員会
議員名：三輪 敦子

1. 開催趣旨・目的

- ✳ 日本は、諸外国と比較しても、「女性の経済的エンパワメント」実現には課題が多い。
- ✳ UN Womenが推進する「女性のエンパワメント原則(WEPs)」は、「平等はビジネス(Equality Means Business)」とのスローガンのもと、トップの署名(意思表示)により、女性の経済的エンパワメントを推進するツールである。
- ✳ WEPsについて広く知っていただく機会を提供し、同時に、女性が活躍する先進的な企業の取り組みについて学び、女性の経済的エンパワメントに貢献することが今回の事業の目的である。

2. シンポジウムの概要

【日時】 2013年2月15日(金)13時～16時

【場所】 女性就業支援センター(港区芝)

【参加者数】 172名

【プログラム】

第1部 対談:「国連グローバルコンパクト」「女性のエンパワーメント原則」の視点から

有馬利男氏／グローバルコンパクト ボードメンバー、富士ゼロックス(株)イグゼクティブ・アドバイザー

岩田喜美枝氏／WEPsリーダーズグループメンバー、UN Women日本国内委員会副理事長

第2部 パネル・ディスカッション:「企業における女性の活躍」未来を捉える視点から

パネリスト:


鎌田由美子氏／東日本旅客鉄道(株)事業創造本部地域活性化部門部長

高久充氏／(株)高島屋元人事部長執行役員

森下由季子氏／中部ダイバーシティNet幹事団体メンバー

コーディネーター:

坂東真理子氏／昭和女子大学学長



3. 参加者からの意見

- ✳ WEPsの内容や意義が良くわかった。
- ✳ トップを動かすことの重要性を再認識した。
- ✳ 地域における女性の活用に関する企業のトップ（女性を含め）の意識はまだまだ低いので、話し合う際の参考にしたい。
- ✳ 「変化を起こしているから壁や波風がある」という言葉に勇気をもらった。
- ✳ 企業が変わらないと真の男女共同参画社会は実現できないと実感した。女性が日本を救いたい！



4. 事業を通して得た成果／効果

- ✳ シンポジウムについての満足度を尋ねたアンケートでは、9割の方から「とても良かった」あるいは「良かった」との回答を得た。
- ✳ WEPsについて広く知っていただく機会となった。
- ✳ 「企業における女性の活躍」に焦点を当てた第2部とあわせた企画にすることにより、これまでWEPsの存在や意義を認識していなかった企業にもWEPsについての理解を広げることができた。
- ✳ 女性の登用や活躍に関する先進的な企業の事例を紹介することができ、企業の人事担当や若い方に希望や勇気を感じてもらえた。



5. 今後の課題

- * 定員を超える申し込みをいただいたのだが、当日、降雪予報が出たこともあってか、結果的に少し空席が出た。歩留まり率の正確な把握は今後の課題である。
- * アンケートからは、「もっと話を聞きたかった」「具体的な事例について知りたい」「企業経営上のメリットを知りたい」といったコメントをいただいた。今回の成果を踏まえた、今後の国内におけるWEPs推進の際の参考にしたい。UN Womenとのネットワークを活かし、世界の動きを日本に紹介することにも積極的に取り組みたい。